

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校設立当初のミッション「一般就労率100%を目指す」を取り入れた学校像である。10周年の節目を迎えるに当たり、寄せられる期待に十分応え、共生社会の実現を目指して次のステージに向けた学校の在り方を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	課題の解決のための中期的な視点に立つ目標となっている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。目指す学校像の実現に向けて、重点目標相互の関連性を意識して検討・整理すると更に良い。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて学科や分掌のシートが作成され、重点目標達成のための取組が進められている。重点目標、評価項目、方策を有機的に結びつけてうまく機能させ、学校関係者などにも取組を適切にフィードバックするなど学校自己評価システムが十分機能するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校が独自に開発した「『今の自分は』チェックシート」は、生徒本人・学校・保護者が記入しやすく工夫が重ねられ、三者面談で活用されるなどして具体的な成果も現れている。課題の分析に基づいた、評価項目を達成するための具体的な方策が策定され、実施されており、組織的・効果的な優れた取組となっている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が教職員に意向を示し、重点目標や評価項目などの共通理解を図っている。校長の的確なリーダーシップの下、就労支援に関わる業務内容と役割分担が見える化するとともに、学校全体で業務の絞り込みや改善を進めている。教職員が共通理解を持って組織的・計画的に教育活動に取り組んでおり、優れた取組となっている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	保護者アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を丁寧に分析・考察して有効に活用し、達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			